



若い季節

NO.89

令和6年12月発行

〒520-0044 大津市京町四丁目3番28号 滋賀県厚生会館内

未来にはばたく青少年の健全育成をすすめる民間団体 滋賀県青少年育成県民会議

中学生広場「私の思い 2024」



開会あいさつ



発表者と中学生実行委員



表彰式



受付



岸本副知事と語ろう会



仰木中学校美術部・田上中学校の取組発表

「滋賀県民総あいさつ運動」顕彰者表彰



滋賀県民総あいさつ運動顕彰者取組事例発表

青少年育成団体関係者等 交流研修会



講演
「自己肯定感を高めるために
私たち大人にできること」
NPO 法人 D.Live (ドライブ)
代表理事
田中 洋輔 氏

非行防止・環境浄化対策連絡会議



講話
県警本部生活安全部
少年課長 本田 利弘 氏



講演
県警察本部組織犯罪対策課
係長 長谷川 朋広 氏

服岡 雅明 氏
学 氏

大藤 耕平 氏



講演
県教育委員会事務局
幼小中教育課 児童生徒室
主幹 北村 武司 氏

主な内容

- 滋賀県第27回中学生広場「私の思い 2024」 2
- 中学生広場 最優秀賞、優秀賞の発表意見文 3
- 「あいさつ運動感謝状」受賞者一覧 6
- 市から町から（大津市・多賀町） 7
- 青少年育成団体関係者交流研修会、非行防止・環境浄化対策連絡会議 8
- 滋賀県青少年育成市町民会議一覧 9
- 正会員（団体）紹介、滋賀県青少年育成県民会議入会のお願い 10

8月24日(土)に、滋賀県第27回中学生広場「私の思い2024」県広場を開催しました。今年度の県広場には岸本副知事にも来賓としてご出席いただきました。今年度は、県内99校、24,568人の中学生から意見作文の応募があり、その中から選ばれた代表の12名の皆さんの意見発表とともに、大津市の中学生実行委員の皆さんを中心とした運営がなされ、進行や案内など様々な場面で、中学生の活躍する様子が見られました。

また、活動発表では大津市内の学校が取り組んでいる「学校夢づくりプロジェクト」について、大津市立仰木中学校美術部の菓子工房との連携事業と、大津市立田上中学校の「田上中ポイ捨てクリーンワーク」の取組について、活動している様子などが紹介されました。

意見発表の審査結果は、下表のとおりです。



意見発表者と授与者の皆さん



馬場迫 葵さん



二宮 諒さん



園田 回空さん



大東 佳意さん



田宮 愛梨さん



村上 由衣さん



小嶋 大晴さん



谷口 優香さん



小林 奈々世さん



長井 四季さん



曾根 彩衣里さん



山瀬 恋音さん

審査結果

(敬称略・優良賞は県広場の発表順)

賞	学校名	学年	発表者	題 名
最優秀賞	草津市立老上中学校	3年	馬場迫 葵	練習期間
優秀賞	大津市立栗津中学校	2年	二宮 諒	私の推し
優秀賞	野洲市立野洲中学校	3年	園田 回空	マスクを通して感じたこと
優良賞	湖南市立甲西北中学校	2年	大東 佳意	バリアフリー
優良賞	延暦寺学園比叡山中学校	3年	田宮 愛梨	AI よりもアイがある
優良賞	滋賀県立水口東中学校	3年	村上 由衣	笑顔をもたらったことで…
優良賞	近江八幡市立八幡西中学校	2年	小嶋 大晴	当たり前の大切さ
優良賞	草津市立玉川中学校	2年	谷口 優香	「いのち」
優良賞	多賀町立多賀中学校	3年	小林 奈々世	私の住む町
優良賞	栗東市立栗東西中学校	2年	長井 四季	私の想いを運ぶもの
優良賞	大津市立打出中学校	2年	曾根 彩衣里	伝統文化の継承 ～興味を持ってもらうために～
優良賞	長浜市立西浅井中学校	3年	山瀬 恋音	誰もが過ごしやすい社会へ

★最優秀賞は滋賀県知事賞、優秀賞は滋賀県議会議長賞および滋賀県教育委員会教育長賞、優良賞は県民会議会議長賞



練習期間

草津市立老上中学校 3年 馬場迫 葵

最優秀賞
(知事賞)

ミュージシャンの甲本ヒロトさんがある相談のインタビューで「学校に居場所がない子に言ってあげられることはありますか、という質問に対して答えた言葉があります。それは、「友達なんていなくて当たり前なんだから。たまたま同じ年に生まれた近所の子が同じ部屋に集められただけじゃん。」

という言葉です。私自身中学1年生になってまもない頃、新しい環境に慣れず、他のクラスメイトはもうすでに話の合う人を見つけていることに、不安と焦りを感じていました。そんな私にこの言葉は、今まであった足枷が一つ外れたように、頭の中も心も軽くしてくれました。学校は、偶然一緒に乗り合わせた電車の車両と同じなんだと、趣味が違っても相性が合わないことも当たり前なんだ、と言っていた甲本さんの言葉は中学3年生になった今でも頭の片隅にそっと残っています。様々な人がいるんだなと分かっているけど違いを理解できなかったり、合わないなと思って一緒に話したくないと思ってしまったりすることもあります。そして最近、この人は私のことが苦手なのかなと相手の口調や仕草で勝手に判断するようになりました。それは自分を守るという自己防衛でもありました。決してお互い良い気持ちにならないですし、申し訳ないと思う気持ちも同時にありました。人の気持ちは他人には分からないけれど感じさせたり、感じたりしてしまうのだと思いました。自分が苦手だと思っている人と他の友達が楽しそうに笑って話しているのを見かけるとなんて自分は心が小さいのだと自己嫌悪に陥ることもありました。でも冒頭で紹介した甲本さんのことばに続きがあることを知ります。それが、

「電車に偶然一緒に乗っただけで友達じゃないけれど、平和に乗ってられなきゃダメじゃない。その訓練じゃないか学校は。友達でも仲良しでもない

人たちと喧嘩しないで平穏に暮らす練習をするのが学校じゃないか。」

という言葉です。社会に出たら世代や価値観の違ういろんな人がもっともっとたくさんいて、そんな人たちと向き合っていかなければなりません。昔、小学6年で中学受験を考えていた頃、苦手だった男子生徒と同じ時間を毎日過ごすことが嫌で、女子校に行きたい、なんて安直な考えをしていた時期もありました。でも社会に出たら女性男性関係なく関わって生きていかなければなりません。学校は社会人になるための練習をする場所で、もしかすると数学や英語の勉強よりも学校で学んでいるのはそういったことなのかなとも思ったりもします。練習だって思ったら完璧にこなす必要もありません。それよりも相手のことをちょっと違うな、合わないな、と思っても向き合うことをやめてしまわないでその相手の話を聞き、知ろうとすることが甲本さんの伝えたい「平穏に暮らす、ことなんだ」と思いました。これまで友達がいない、苦手な人との接し方がわからない、居場所がないことがつらかった私だけれど、居場所がないことを重く受けとらないでも大丈夫、ということを甲本さんから教わりました。少なからず「学校に行く、ことに意味があるのです。毎日同じ時間に登校し、同じ給食を食べ、同じ教室で勉強してるクラスメイトの素敵なところを見つけられるそんな心を大切にできる自分でありたいと思います。今この中学校生活は社会人になるための練習期間なのです。



私の推し

大津市立栗津中学校 2年 二 宮 諒

優秀賞
(議長賞)

千年以上前に世界最古の長編物語「源氏物語」を書いた平安時代の女性作家・紫式部。私の尊敬する人です。今でこそ紫式部が好きだと胸を張って言うことができますが、昨年までの私はそうではありませんでした。

中学校に入学したばかりの私は新しいクラス、他の小学校から来た生徒がたくさんいる中でとても緊張していました。友達ができるか不安に思っていました。

そんなある日、学校で自己紹介カードを書くことになりました。名前、誕生日、出身小学校など順調に筆を走らせていた私の手はある箇所で止まりました。そこには、「好きな有名人」と書かれてあったのです。

「好きな有名人」これはつまり、自分の「推し」ということ。でも、ここで「紫式部」と書いて、「周りから変な目で見られたらどうしよう、もしもひかれたらどうしよう」と悩みに悩んだ末、「特にいない」と書きました。それからなんだか心にポッカリ穴が空いたようなモヤモヤした気分が続きました。

後日、教室の掲示板に自己紹介カードが貼り出されました。それらを眺めていると、ある一枚の自己紹介カードに目がくぎづけになりました。「紫式部」好きな有名人の箇所にそう書いてあったのです。「推しが同じ人がいた」という喜びももちろんありましたが、何よりも「紫式部」と書いていいことに嬉しさがこみ上げてきました。私は周りにどう思われるかばかりを気にして本当に自分が好きなものを書けずにいました。

私は紫式部が好きです。源氏物語が好きです。どんなときも自分の気持ちに正直になっていいということに、私は気づかされました。

それからの私は、「周りに変に思われてもいい。自分の『好き』を貫こう」と決めました。今では、その友と、源氏物語や平安時代について語り合

うひとときが本当に幸せです。私が話すときはあいつちを打ちながら熱心に耳を傾けてくれる彼女。私が好きなものを彼女も好きなんだと思うと、嬉しくてたまりません。彼女と話すことにより、新しい知識もたくさん増えています。もちろん、大河ドラマ「光る君へ」の話でも盛り上がっています。

私の住む滋賀県大津市には紫式部ゆかりの場所がいくつもあります。その一つが石山寺。紫式部が琵琶湖の湖面に美しく映える十五夜の満月を見て、「今宵は十五夜なりけり」と源氏物語の途中から書き始めたという話が伝わります。

この話を聞いたとき、「なんて素敵なお話なんだろう」と感動しました。私は琵琶湖がすぐそばにある環境で育ち、今は琵琶湖に一番近い中学校に通学しています。

「なじみ深い琵琶湖を大好きな紫式部も見たなんて」「源氏物語を書き始めたのが自分の住む町だったなんて」これからの話は言い伝えにすぎないかもしれませんが、それらを想像しただけで私の心は踊ったのです。

そのような歴史ある町・大津に住むことができていることに嬉しいです。

私は今、紫式部が好きです。

しかし、好きなことはこれからどんどん変わっていくかもしれません。他のことを好きになるかもしれません。

ですが、私は私が、何をどんなことを好きになろうと自分の気持ちに嘘をつきたくありません。どんなときでも、自分の気持ちに正直になって生きていきたいです。

今、「好きな有名人は誰」と聞かれたら、私は迷わずこう答えます。「紫式部」と。



マスクを通して感じたこと

野洲市立野洲中学校 3年 園 田 回 空

優秀賞
(教育長賞)

私は顔の見た目に関する先天性疾患をもって産まれてきました。この疾患は、日本では500人から600人に一人の割合で発生するものだそうです。これまでに幾度も手術、入院を繰り返してきました。治療後も発声の訓練や歯列矯正など今でも定期的に通院しています。自分の疾患と向き合えるようになってからは、手術をするたびに、見た目が少しでも変わることを期待していました。しかし、私が受けてきた手術は、正しく発音できるようにする、噛み合わせを治す等、機能を良くするものであって、見た目を優先するものではありませんでした。鏡を見るたびに気になるのは、鼻の穴が左右で大きさが全然違うところや、口元にも目立つ手術痕があるところです。少しでも整えたいと思い手術もしましたが、顔に傷が増えただけでした。

新型コロナウイルスが流行りだした頃、マスクをする生活が当たり前になった時は、正直すごくほっとしました。自分の嫌いな口元を隠し、普通の人と同じようになれる様な感じがして嬉しかったのです。しかしその反面、マスクを外すことに対する抵抗が、自分の中でどんどん大きくなりました。

小学6年生の時、10歳の少年が主人公の、ある小説を読み、読書感想文を書きました。その主人公は、私と同じように、顔に遺伝子の疾患があり、人とは違う顔で産まれてきたことで、学校でいじめられ、辛い毎日を過ごしていました。周囲の生徒たちは、ユーモアがあり、優しい彼の魅力にだんだんと気付きはじめます。いじめを乗り越え学園一の愛される人物になっていく姿を自分と重ね、勇気をもらいました。

物語の中で、校長先生の「彼の見た目は変えられない。我々の見る目を変えなくては。」というスピーチが強く心に残りました。少年が変わるのではなく、周りにいる人々こそが変わるべきだとい

う言葉は、私たちはしっかりと心に留めておかなければならないと思いました。少年を取り巻く様々な人の悩み、葛藤も描かれていました。自分の外見だけでなく、みんなの心の中も一人一人違って、みんなも普通ではないのではないかな。しかし、それが個性というもので誰もが認められるべきだと、少年も、私も気付くことができました。けれども、私は彼のようにまだ強くはなれないです。

誰もが自分の容姿に対して満足しているのでしょうか。もう少し、ここが、こうだったらと何かしらの欲があるのではないかなと思います。私もそれ以上にコンプレックスを持っていて、できれば隠したい。今も続くマスク生活は、私にとっては不自由なものではありません。周りとは違うのは当たり前前のことで、それが私だと思うようにしていますが、本心では友達の顔を見る度に羨ましいとも思ってしまう。

SNSが普及している今、たくさんの人が自分の写真をネット上で公開しています。『いいね』の言葉が欲しいため、少しでも見た目をよく見せようと写真アプリ等で加工する人が増え、自分の容姿を自由に修正できる時代になってきました。見た目や外見でその人を判断することはダメだと分かっているけど、今の社会では、第一印象で相手を判断してしまう傾向があると思います。そのような流れを変えていくために私たちはどう考え、行動すればよいのでしょうか。相手の本質を知らないのに見た目だけで決めつけることはしないで欲しいです。みんなと同じ考えだから安心だという思いも捨て、周りに流されず、自分らしく過ごしていきたいです。誰もが生きやすい環境にするには、お互いのことを理解し合うことが大切だと思っています。これからひとりでも多くの人のことを知りたし、私のことも知ってもらいたいです。

滋賀県民総あいさつ運動感謝状受賞者一覧（敬称略・順不同）

令和6年度総会（5月15日）の席上、長年にわたりあいさつ運動に取り組んでおられる下記の10名と8団体の皆様に滋賀県青少年育成県民会議児玉会長から感謝状を授与させていただきました。

顕彰者(団体)名	活 動 内 容	顕彰者(団体)名	活 動 内 容
日吉学区青少年育成 学区民会議 (大津市)	昭和60年4月に設立され、現在まで38年にわたり青少年の健全育成活動を行っている。なかでも、あいさつ運動は学区の自治連合会や公民館と共同で開催し、地域ぐるみで行われてきた。主に、7月や11月の強調月間中、小学校の通学路や市民センターの横断歩道等で子どもたちに声掛けしている。	明田 弘美 (栗東市)	長年にわたり、児童の登校に合わせ毎朝学校の校門の前に立ち、児童に「おはよう」・「今日も元気か」等と率先しての声かけを行っている。児童の表情や様子にも気をつけ、個々の児童とのコミュニケーションをはかりながら、子どもたちの健康面や心の面でのサポートもしている。
南郷里小学校 PTA (長浜市)	年間通して、「あいさつの飛び交う南郷里小」「あいさつでつながり合う南郷里っ子」を目指し、あいさつ運動の推進に努めている。特に、10月のあいさつ運動強調月間には、「南郷里のすべての地域で 南郷里のすべての人が参加して あいさつの輪を広めましょう」を合言葉に、地域あげて、あいさつ運動に取り組んでいる。	金勝学区民生委員 児童委員協議会 (栗東市)	「地域の子どもは地域で守り育てる」ことを意識し、住民を代表してとの気概を持って、率先して小学校の校門の前に立ち、児童に「おはよう」・「いってらっしゃい」等との声かけを行っている。地域の安心・安全な環境づくりに貢献し、児童もしっかり「あいさつ」が出来る良い習慣が身につけてきている。
藤田 長昭 (長浜市)	長年にわたり、子どもたちの通学時に通学路であいさつ運動を実施している。地域住民は、ボランティア活動に献身する姿に触発され、活動を共にする町内スクールガードは6名にまで増え、あいさつの輪は直実に広がっている。子どもたちが高校生や大人になった今も気軽に地域の人にあいさつしてくれるのは、継続して取り組んだ成果である。	東郷 雅彦 (野洲市)	平成25年から11年間、補導(委)員として尽力し、積極的な活動を続けている。毎朝、小学生の集団登校の子どもたちの元に出向きあいさつをかわして、小学校直ぐ近くの信号まで送り届けている。途中、他の登校班の子どもたちとも合流し、多くの子どもたちとあいさつをかわしながら見守りを続けている。
長浜少年補導委員会 湖北ブロック (長浜市)	長期休業期間を除き、毎月第1月曜日に湖北ブロックの最寄り駅であるJR河毛駅の構内で朝に電車で通学・通勤をする高校生や一般の方を対象にあいさつ運動を実施している。平成22年1月の大合併以後に現在の長浜少年補導委員会湖北ブロックが誕生し、湖北ブロックの活動の1つとして始め、現在まで継続している。	湖南市中央区 子ども見守り隊 (湖南市)	平成20年から登下校時に通学路の子どもたちの見守りと声かけ活動を始め、毎日、交通事故や犯罪から守るため活動を続けている。活動の際には、子どもたちに温かなあいさつの声かけをしており、子どもたちも自分たちを見守ってもらっているという安心感を抱きながら登下校している。
藤野 勇 (近江八幡市)	幼児・児童・生徒の健全育成の為、毎月1日と15日の朝に、老蘇小学校・老蘇こども園の校門前・門扉前で登校登園してくる子どもたちにあいさつを続けている。また、年間8回、安土中学校・安土保育園の昇降口前で登校登園してくる子どもたちにもあいさつを続けている。	湖西中学校 むくげの花の会 (高島市)	中学校からの要請に応える形で、平成30年度から1日も休むことなく会員が校門や昇降口、校舎内で挨拶・声かけを笑顔で行っている。このことにより、生徒に落ち着きがでて朝の授業をスムーズに開始できている。生徒の遅刻も減少の傾向にある。
河野 富一 (近江八幡市)	児童の健全育成の為、老蘇小学校の登校日の朝に、また、集団下校日(毎週水曜日・行事日・夏休み冬休みの終業日、始業日)の下校時刻に、老蘇コミュニティセンター東側の交差点に立ち、登下校する子どもたちが安全に信号を渡れるように交通誘導を行うとともに、あいさつを続けている。	必佐小学校 見守り応援隊 (日野町)	平成30年度に関連18団体で必佐小学校見守り応援隊を組織した。見守りあいさつ運動は、子どもたちとあいさつを交わすだけではなく、子どもたちの様子を地域の大人が知ることが出来る活動でもある。このあいさつ運動は着実に成果を上げ、子どもたちは以前に比べて落ち着いてスムーズに学校生活をスタートできるようになってきた。
鈴木 節男 (草津市)	平成6年4月草津栗東交通安全協会に加入し、現在は老上支部の支部長として活動をしている。それに併せて一年を通じて、あいさつ運動の推進役として、毎朝、街頭に立ち、子どもたちの見守りを兼ね、あいさつ運動をしている。地域の中では、気軽に声かけできる「おっちゃん」として多くの方に親しまれている。	西倉 進一 (多賀町)	地元の小中学生の登下校の見守りを中心に、地域に溶け込んだ活動を展開している。登下校時に通学路に立つだけでなく、大きな声であいさつをし、それに加えて天気のことや学校のことなど、2の句を添えて子どもたちとコミュニケーションを図っている。多賀町が力を入れている「あいさつ運動」の大きな牽引力となっている。
老上厚生保護女性会 (草津市)	平成5年より30年の長きにわたり『夢街道「あいさつ」通り推進友の会』の活動の中心メンバーとして、あいさつ運動に取り組んでいる。毎月8日朝に老上小学校ならびに老上西小学校の校門にて、登校してくる子どもたちに「おはようございます」と大きな声であいさつを行い、子どもたちとの交流を深めている。	火口 悠治 (多賀町)	県土木交通部長等からの委嘱を受け、通学路に立ち、子どもたちの安全を確保したり、その時や実際に通学路を回った時に気になったことを、通学路推進会議の場で意見したり、安全教育の支援をしたりしている。特に、毎朝通学路に立って子どもたちに大きな声で朝のあいさつを行う姿は、自然と子どもたちのあいさつの声も大きくなっている。
安川 和正 (守山市)	長年、安全指導員をしている時から「挨拶」を交わしていたが、安全指導員を退任後も引き続き「あいさつ運動」として毎日、活動している。9月から2月の朝夕の登下校時に「あいさつ」を交わしながら自転車マナーアップ活動にも取り組み、常に会う人々と交流し、模範となる活動となっている。		
小島 良和 (守山市)	退職後、長年にわたりスクールガードとして児童の登下校のあいさつ運動と見守り活動に取り組んできた。毎日、小学生の通学時間帯に守山小学校付近の勝部町交差点で子どもたちと挨拶を交わし、横断時の交通整理と見守り活動をしている。		

市から 町から

～ 地域の子どもは、地域で守り育てましょう ～

大津市青少年育成市民会議

次世代を担う子どもたちが夢を持ち、のびのびと成長していくために、地域で子どもたちを見守り、育てていくことは私たち大人の役割です。大津市青少年育成市民会議では、大津の宝である子どもたちのために、「地域の子どもは、地域で守り育てましょう」を合言葉に、家庭、学校、諸団体と共に子どもたちの健やかな成長を願い、さまざまな活動を行っています。

◆ あいさつ運動・見守り活動

登下校時の通学路において行うあいさつ運動や見守り活動は、学区民会議だけでなく、学校やPTA等地域の諸団体と共にまちぐるみで活動しています。

「おはよう」「さようなら」といった何気ないあいさつからコミュニケーションが始まり、「いつてらっしゃい」「いつてきます」「おかえり」「ただいま」と会話が生まれます。会話のキャッチボールへとつながる大切なあいさつ。これからも地域の大人から声かけしていきます。

◆ 有害環境浄化活動

7月・11月の強調月間に図書等取扱店やカラオケボックス・ゲームセンター等へ巡回要望活動を行うなど、健全な環境づくりの推進に努めています。7月には、187名で図書等取扱店131店舗を巡回しました。

◆ 大津っ子まつり

毎年5月の第3日曜日に行われる「大津っ子まつり」に参加しています。

今年は、40回の記念事業として盛大に開催されました。

市民会議のブースでは雨天にもかかわらず、400人以上の子どもたちが缶バッジ作りやねんど遊びを楽しんでくれました。

◆ 青少年育成市民のつどい・中学生広場

大津市、大津市教育委員会とともに開催している事業です。

今年度は、市内中学校から選ばれた10名による中学生の意見発表とテーマトークと称し「人に意見を伝えること」、「将来の大津市について」の2つのテーマで中学生に話をしてもらいました。

中学生からは「他の意見を聞くことで、自分自身の視野が広がった」、「色々な意見が聞けて楽しかった」等の声があがり、貴重な機会を提供する場になりました。

◆ 地域の取り組み

市内36学区民会議では、自分たちが暮らす地域の特色を活かした多彩な活動を行っています。地域の大人と関わることで、学校や家庭では体験できないことや人とのつながり、地域とのつながりの大切さを感じてもらえるよう願っています。



『大人が変われば子どもも変わる』から『大人と子どもでともに変わる』へ

多賀町青少年育成町民会議

多賀町青少年育成町民会議は、『たくましく 伸びよう 伸ばそう 多賀の子』をスローガンに、地域社会と一体となった活動を積極的に展開しています。

「子どもを変える」という一方的な考え方ではなく、「大人育ち」を意識しつつ、温かく時に厳しく子どもを見守り、「大人も変わっていかなくては」という考えのもとで青少年育成活動を広げていこうと、様々な活動に取り組んでいます。

その一部をご紹介します。

＊朝のあいさつ運動の実施・・・7月と11月に多賀大社駅前と町内の6校園に町民会議の常任委員や代議員が出向き

1週間のあいさつ運動を展開しています。常任委員や代議員だけでなく、町長や教育長、教育委員会事務局、各校園のPTAや保護者会の役員など、多くの者の参加により、大きなうねりとなっています。多賀の子どもが大きな声であいさつができるようになった要因のひとつで、本会議が一番力を入れている取組です。



＊「中学生サミット」をめざして・・・昨年度から多賀中学校の生徒会との交流を深めています。

生徒会長選挙立会演説会参観、新執行部との交流。今年度に入り、生徒総会の参観を行ってきました。また、11月には中学校と子ども園を訪問し、授業・保育の参観を行って、校園長先生の講話を聞き、今後の「中学生サミット」実現に向けて町内の校園でどういったことを共通認識して取組を進めていけるかを話し合いました。



その他にも常任委員・代議員合同研修会や子育てカレンダーの作成、年3回の広報「いくせい」の発行や「多賀町民のつどい」における顕彰などに取り組んでいますが、前年度踏襲型にならないように、常に新しい考えや発想で多賀町の青少年の健全育成に向け取り組んでいきたいと考えています。

青少年育成団体関係者交流研修会

令和6年度滋賀県青少年育成団体関係者交流研修会を5月15日(水)の午後に、滋賀県庁新館7階において開催しました。この研修会は、青少年育成市町民会議および関係機関・団体等の役職員が一堂に会して講演、事例発表や情報交換を通して地域活動の一層の推進を図ろうとするものです。

今年も、「滋賀県民総あいさつ運動」を最重点課題として取り組んでいます。その事例発表と青少年育成に関わる私たちにとって、これからの次代を担う青少年を育成する上で心がけなくてはならないことについて研修会が開催されました。

あいさつ運動顕彰者による事例発表

【事例発表①】

「『おはよう』から始まる楽しい学校 ～地域とともに育つ子どもたち～」

服部 学 氏 岡田 雅明 氏 (必佐小学校見守り応援隊【日野町】)

【事例発表②】

「学校と地域が協働して育む 新旭地域学校協働活動の取組」

大藤 耕平 氏 (湖西中学校 むくげの花の会【高島市】)

講演

『自己肯定感を高めるために 私たち大人ができること』

NPO 法人 D.Live (ドライブ) 代表理事 田中 洋輔 氏

「いじめ」「不登校」「自殺」など子どもたちを取り巻く問題が数多くある中で、生きづらさを抱えた子ども・若者への関わりをどのようにしていけばよいのかなど、青少年に関わる大人としての立ち位置を見直す研修の機会をもちました。講師の田中氏からは、「子どもたちの現状について」「自己肯定感について」「私たち大人にできること」などのテーマのもと、ほめることについて、共感の大切さ、自己肯定感の大切さに多くの事を学ばせていただきました。参加者からは、「子どもたちにとって、今の社会は本当にしんどく生きづらいので、共感することが大切であることを学ぶことができました。」「自己肯定感をどう高めるか、大人はどう接していけばよいのかなど、大変参考になった。」などの感想が寄せられました。

「青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間」推進事業 非行防止・環境浄化対策連絡会議

7月2日(火)に、滋賀県庁新館7階大会議室にて、令和6年度非行防止・環境浄化対策連絡会議を開催しました。本会議は、「青少年非行・被害防止滋賀県強調月間」推進事業の一環として実施しています。

●講話「県内の少年非行の現状とSNSに起因する犯罪」

滋賀県警察本部生活安全部 少年課長 本田 利弘 氏

非行少年の数は、ピークであった昭和63年の5分の1まで減少しているが、ここ2～3年は増加がみられ、刑法犯少年が大幅に増加していることをご指摘いただきました。また特に、SNSに起因する事犯については、ネット上の見知らぬ人とSNSでやりとりをし、脅されたり、騙されたりして児童ポルノや児童買春などの犯罪被害にあう少年が後を絶たない現状があり、SNS利用による犯罪被害から子どもたちを守るためのポイントをお話いただきました。

●講演「闇バイト(匿名流動型犯罪グループ)の実情について」

滋賀県警察本部組織犯罪対策課 係長 長谷川 朋広 氏

SNSや求人サイトなどで集めたメンバーを匿名で実行役として、詐欺や強盗などの犯罪を繰り返す匿名流動型犯罪グループ(通称「トクリュウ」)についてお話しいただきました。一度加担してしまうと、“やめたい”と思っても応募したときに登録した自分自身、家族等の個人情報を基に、「家に行く」「周囲の人に危害を加える」と脅され、逮捕されるまで抜けだせない危険性をご指摘いただきました。

●講演「生徒指導上の諸課題への対応について」

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課 児童生徒室 主幹 北村 武司 氏

国や県の資料データにより、暴力行為、いじめ、不登校の現状・要因についてご説明いただきました。そして、令和6年3月に子どもが安心して学び育つために、不登校の状態にある子どもの支援に向けて策定された「しがの学びと居場所の保障プラン」について、支援の基本理念・重視する視点、支援策などを詳しくお話しいただきました。

滋賀県青少年育成市町民会議一覧

滋賀県では19市町それぞれに青少年育成市町民会議が組織されています。そこでは、青少年の健全育成の活動をしています。お問い合わせは下記にお願いします。(令和6年10月31日現在)

青少年育成市町民会議名	市町民議会議長	所在地		電話番号	FAX 番号
		〒	住 所	E-mail	
大津市青少年育成市民会議	服部 和平	520-8575	大津市御陵町 3-1 大津市子ども・若者政策課内	077-528-2706	077-528-2792
				otsu1488@city.otsu.lg.jp	
彦根市青少年育成市民会議	林 治	522-0041	彦根市平田町 670 少年センター内	0749-24-9140	0749-26-1768
				shonen@mx.hikone.ed.jp	
長浜市青少年育成市民会議	堀川 佳孝	526-8501	長浜市八幡東町 632	0749-65-6552	0749-64-0396
				s-ikusei@city.nagahama.lg.jp	
近江八幡市青少年育成市民会議	柳生 強	523-8501	近江八幡市桜宮町 236	0748-36-5533	0748-36-5565
				045000@city.omihachiman.lg.jp	
草津市青少年育成市民会議	熊川 勉	525-8588	草津市草津三丁目 13-30	077-561-6899	077-561-6780
				kodomo@city.kusatsu.lg.jp	
守山市青少年育成市民会議	中川 郁男	524-8585	守山市吉身二丁目 5-22	077-582-1142	077-582-1142
				shakaikyoiku@city.moriyama.lg.jp	
栗東市青少年育成市民会議	朽木 徳寿	520-3015	栗東市安養寺三丁目 1-1 学習支援センター	077-551-0145	077-552-5544
				syogaigakusyu@city.ritto.lg.jp	
甲賀市青少年育成市民会議	前田 武広	528-8502	甲賀市水口町水口 6053	0748-69-2248	0748-69-2293
				koka30104500@city.koka.lg.jp	
野洲市青少年育成市民会議	三村 益夫	520-2331	野洲市小篠原 1780	077-587-6053	077-587-3835
				syougai@city.yasu.lg.jp	
湖南市青少年育成市民会議	井上 明保	520-3195	湖南市石部中央一丁目 1-1	0748-77-6250	0748-77-6253
				kyouikushien@city.shiga-konan.lg.jp	
高島市青少年育成市民会議	杉嶋 郁夫	520-1592	高島市新旭町北畑 565	0740-25-8565	0740-25-8145
				syakyo@city.takashima.lg.jp	
東近江市青少年育成市民会議	野瀬 隆行	527-8527	東近江市八日市緑町 10-5	0748-24-5672	0748-24-1375
				syogaika@city.higashiomi.lg.jp	
米原市青少年育成市民会議	泉 峰一	521-8501	米原市米原 1016	0749-53-5131	0749-53-5128
				kosodate@city.maibara.lg.jp	
日野町青少年育成町民会議	安藤 宜保	529-1698	蒲生郡日野町河原一丁目 1	0748-52-6566	0748-52-4665
				kik-syogai@town.shiga-hino.lg.jp	
竜王町青少年育成町民会議	白井 磯治	520-2552	蒲生郡竜王町小口 276-1 竜王町公民館内	0748-58-1005	0748-58-1979
				kouminkan@town.ryuoh.shiga.jp	
愛荘町青少年育成町民会議	西村 育郎	529-1380	愛知郡愛荘町愛知川 72 愛荘町役場本庁舎	0749-42-8015	0749-42-8014
				syogaku@town.aisho.lg.jp	
豊郷町青少年育成町民会議	藤 博之	529-1161	犬上郡豊郷町四十九院 1252 豊栄のさと内	0749-35-8010	0749-35-8021
				syakaikyoiiku@town.toyosato.shiga.jp	
こうらスマイルネット	北川 勝	522-0244	犬上郡甲良町在士 353-1	0749-38-3315	0749-38-4336
				kyoui@town.koura.lg.jp	
多賀町青少年育成町民会議	松宮 千津子	522-0352	犬上郡多賀町久徳 160-2 多賀町中央公民館内	0749-48-8130	0749-48-2363
				kouminkan@town.taga.lg.jp	

正会員(団体)の紹介 (敬称略)

○各市町青少年育成市町民会議(19市町)

○団体(46団体)

一般社団法人ガールスカウト滋賀県連盟

滋賀県更生保護女性連盟

滋賀県高等学校等生徒指導協議会

滋賀県高等学校長協会

滋賀県公立高等学校 PTA 連合会

公益財団法人滋賀県国際協会

滋賀県国公立幼稚園・こども園長会

滋賀県子ども会連合会

滋賀県市長会

滋賀県社会教育委員連絡協議会

社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会

滋賀県小学校長会

滋賀県少年補導員会連絡協議会

滋賀県書店商業組合

滋賀県私立中学高等学校連合会

滋賀県私立幼稚園・認定こども園協会

滋賀県青少年教化協議会

滋賀県青少年補導センター連絡協議会

滋賀県青少年赤十字指導者協議会

滋賀県青年国際交流機構

滋賀県青年団体連合会

滋賀県スポーツ推進委員協議会

公益財団法人滋賀県スポーツ協会(滋賀県スポーツ少年団)

滋賀県地域女性団体連合会

滋賀県中学校長会

滋賀県町村会

滋賀県町村教育委員会連絡協議会

滋賀県都市教育委員会連絡協議会

滋賀県都市教育長会

滋賀県 PTA 連絡協議会

滋賀県 BBS 連盟

一般社団法人滋賀県保育協議会

滋賀県保護司会連合会

公益社団法人滋賀県防犯協会

社会福祉法人滋賀県母子福祉のぞみ会

滋賀県民生委員児童委員協議会連合会

滋賀県モラロジー協議会

滋賀県ユースホステル協会

滋賀県レクリエーション協会

一般財団法人滋賀県老人クラブ連合会

十社会

生活衛生同業組合滋賀県興行協会

青少年育成アドバイザー滋賀の会

一般財団法人天智聖徳文教財団

公益社団法人日本青年会議所近畿地区滋賀ブロック協議会

日本ボーイスカウト滋賀連盟

明日の滋賀県民を育てるために

滋賀県青少年育成県民会議入会のお願い

次代を担う青少年の健全な育成を促すために、広く県民の総意を集めるのが滋賀県青少年育成県民会議の目的の一つです。これまで多くの方々に会員として参加いただき、あすの滋賀県を担う青少年の健全育成のための運動を展開してまいりました。

今後、さらにこの運動の拡充・強化に努め、県民総ぐるみで青少年の健全育成運動を推進していきたいと考えております。

当県民会議の趣旨に賛同していただける団体・青少年育成に関心をお持ちの個人等、多くの方々が賛助会員として、ぜひご入会くださいますようお願いいたします。

入会の申込みについて

賛助会員(年会費) ①個人 3,000円以上
②団体(企業) 一口 5,000円(2口以上)

賛助会員には、県民会議の機関紙「若い季節」等をお配りして、県民会議の活動情報をお知らせしています。

会費の活用について

会員の方からいただいた会費は、県民会議の自主財源として、青少年の健全育成に関わる各種事業や啓発資料の作成、配布、機関紙の発行等とともに、各地域の青少年育成連絡協議会の活動助成、青少年や青少年育成指導者等の顕彰に使わせていただいています。

入会の申込みについて

入会申し込みは随時受け付けています。賛助会員として入会いただける方は、当県民会議事務局へ電話、FAXまたは電子メールでご連絡ください。

お問い合わせ

滋賀県青少年育成県民会議事務局

〒520-0044 大津市京町四丁目3番28号 滋賀県厚生会館内
TEL 077-523-5484 FAX 077-526-7331
E-mail ikuseiken@ex.bw.dream.jp